

令和7年度
第7回市政モニターアンケート

「暴力追放運動について」

総務市民局広聴課

目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
(1)市の相談窓口の認知度	2
(2)市の暴力追放に向けた取り組みの認知度	3
(3)活動内容の認知度	4
(4)暴力団等から不当な要求を受けた経験の有無	5
(5)不当な要求を受けた場合の対応	6
(6)不当な要求に応じる理由	7
(6)不当な要求を受けた場合誰（どこ）に相談するか	8
(7)暴力追放の住民運動への協力意向	9
(8)暴力追放の住民運動に協力したくない理由	10
(9)暴力団を利用してのもめごと処理についての考え	11
(10)暴力団の利用を「やむを得ない」「悪くはない」と思う理由	12
(11)暴力団はどうして存在すると思うか	13
(12)北九州市のイメージについて	14
(13)北九州市の暴力追放運動の取り組みについて	15
(14)暴力追放についての意見	16
IV 全体考察	18

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター１０２人		
回答者数	９１人（回収率８９．２％）		
調査実施日	令和７年９月１１日～令和７年９月２４日		
実施方法	インターネット調査		
調査実施課	総務市民局広聴課	TEL ０９３－５８２－２５２７	
調査依頼課	総務市民局安全・安心推進課	TEL ０９３－５８２－２９１１	

II 市政モニターの構成

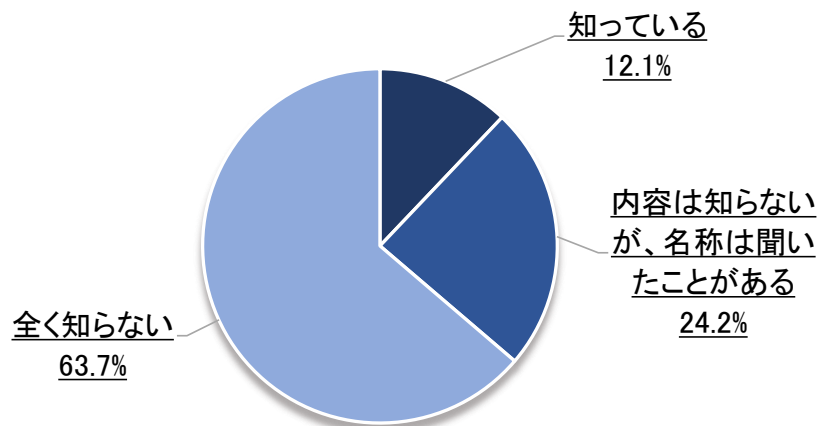
	合計	男性	女性		合計	男性	女性
全体	102 (100.0%)	44 (43.1%)	58 (56.9%)	区 別			
10歳代	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	門司区	13 (12.7%)	7 (6.9%)	6 (5.9%)
20歳代	6 (5.9%)	4 (3.9%)	2 (2.0%)	小倉北区	21 (20.6%)	11 (10.8%)	10 (9.8%)
30歳代	14 (13.7%)	4 (3.9%)	10 (9.8%)	小倉南区	21 (20.6%)	8 (7.8%)	13 (12.7%)
40歳代	22 (21.6%)	7 (6.9%)	15 (14.7%)	若松区	4 (3.9%)	1 (1.0%)	3 (2.9%)
50歳代	24 (23.5%)	5 (4.9%)	19 (18.6%)	八幡東区	13 (12.7%)	7 (6.9%)	6 (5.9%)
60歳代	26 (25.5%)	17 (16.7%)	9 (8.8%)	八幡西区	23 (22.5%)	8 (7.8%)	15 (14.7%)
70歳以上	10 (9.8%)	7 (6.9%)	3 (2.9%)	戸畑区	7 (6.9%)	2 (2.0%)	5 (4.9%)

※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としており、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

※ 年代は令和７年４月１日時点でのものです。

Ⅲ 調査結果

問 1 市役所内に民事介入暴力の被害相談窓口が設置されていることを知っていますか。

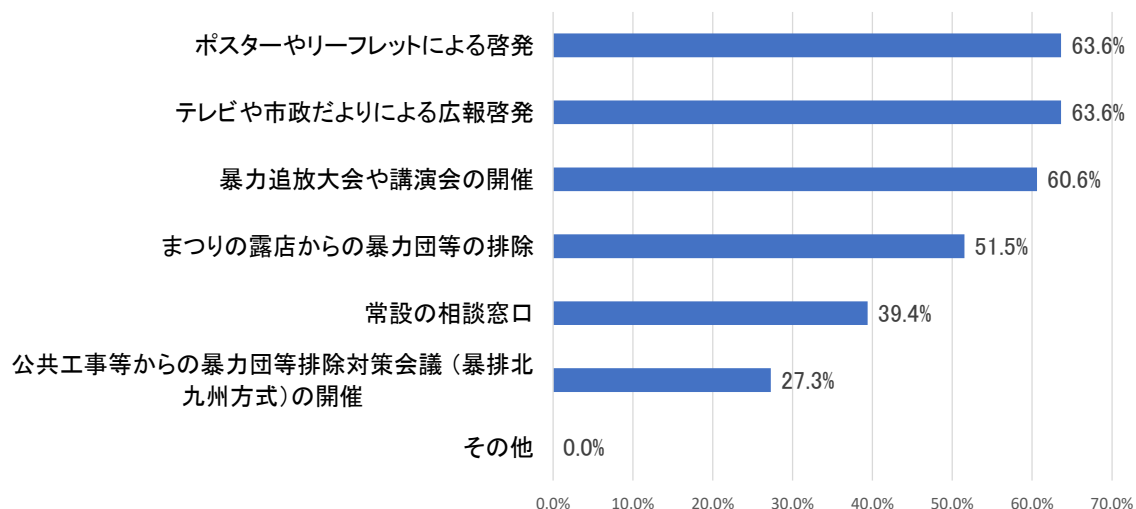


		回答者数	知っている	内容は知らないが、名称は聞いたことがある	全く知らない
全体		91人	12.1%	24.2%	63.7%
性別	男性	39人	15.4%	12.8%	71.8%
	女性	52人	9.6%	32.7%	57.7%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	0.0%	0.0%	100.0%
	30歳代	14人	7.1%	21.4%	71.4%
	40歳代	18人	11.1%	16.7%	72.2%
	50歳代	22人	9.1%	40.9%	50.0%
	60歳代	23人	21.7%	17.4%	60.9%
	70歳以上	10人	10.0%	30.0%	60.0%
区別	門司区	12人	25.0%	25.0%	50.0%
	小倉北区	20人	10.0%	25.0%	65.0%
	小倉南区	17人	11.8%	23.5%	64.7%
	若松区	3人	33.3%	0.0%	66.7%
	八幡東区	12人	8.3%	25.0%	66.7%
	八幡西区	20人	10.0%	15.0%	75.0%
	戸畑区	7人	0.0%	57.1%	42.9%

「知っている」「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」の合計は 36.3%でした。
「全く知らない」が 63.7%で、年代別では 20 歳代から 40 歳代が 70%以上と認知度が低い傾向がみられました。

問2 <問1で「1 知っている」又は「2 内容は知らないが、名称は聞いたことがある」と答えた方におたずねします。>

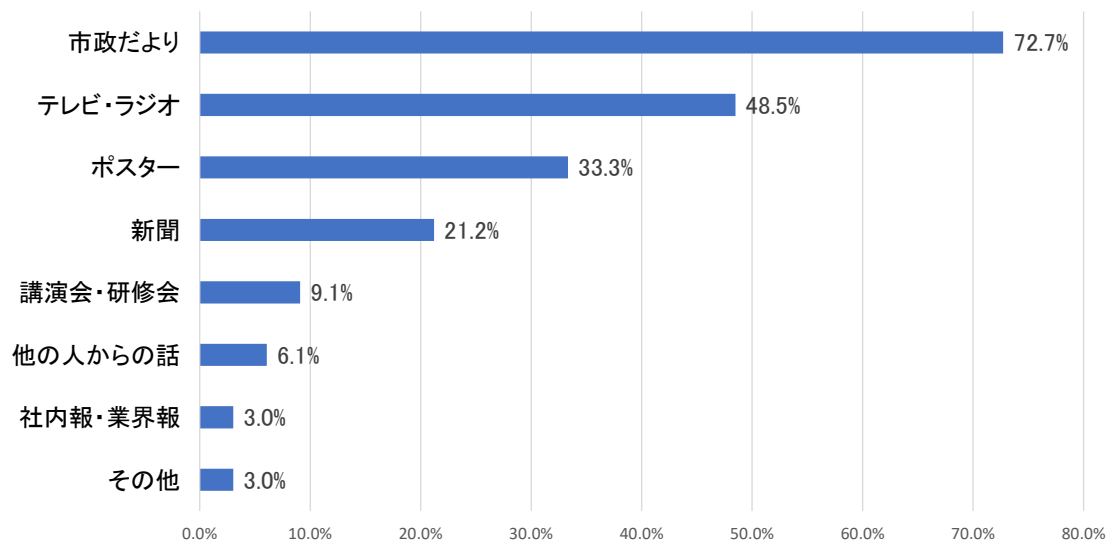
2-1 市の暴力追放に向けた取り組みの中で、知っているものをいくつでも選んでください。



		回答者数	ポスターやリーフレットによる啓発	テレビや市政だよりによる広報啓発	暴力追放大会や講演会の開催	まつりの露店からの暴力団等の排除	常設の相談窓口	公共工事等からの暴力団等排除対策会議（暴排北九州方式）の開催	その他
全体		33人	63.6%	63.6%	60.6%	51.5%	39.4%	27.3%	0.0%
性別	男性	11人	45.5%	63.6%	63.6%	54.5%	54.5%	27.3%	0.0%
	女性	22人	72.7%	63.6%	59.1%	50.0%	31.8%	27.3%	0.0%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	4人	100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	40歳代	5人	80.0%	80.0%	40.0%	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	50歳代	11人	54.5%	54.5%	63.6%	36.4%	36.4%	27.3%	0.0%
	60歳代	9人	55.6%	77.8%	66.7%	66.7%	55.6%	22.2%	0.0%
	70歳以上	4人	50.0%	75.0%	100.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%
区別	門司区	6人	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%
	小倉北区	7人	71.4%	57.1%	71.4%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%
	小倉南区	6人	50.0%	66.7%	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%
	若松区	1人	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	4人	75.0%	100.0%	50.0%	75.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	八幡西区	5人	100.0%	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	0.0%
	戸畑区	4人	50.0%	25.0%	75.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%

前回 1 位の「テレビや市政だよりによる広報啓発」と前回 2 位の「ポスターやリーフレットによる啓発」が今回ともに 63.6%で同率の 1 位となりました。

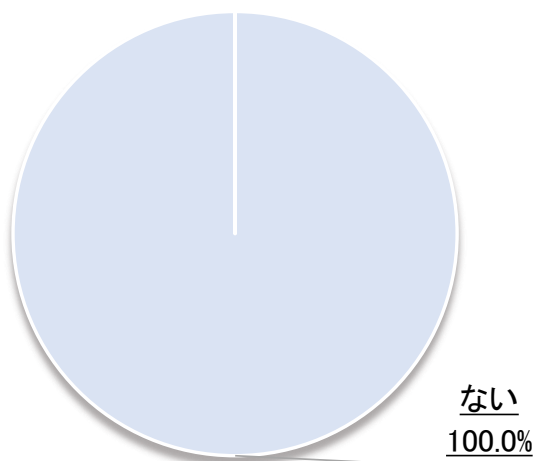
2-2 あなたは、その活動を何によって知りましたか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	市政だより	テレビ・ラジオ	ポスター	新聞	講演会・研修会	他の人からの話	社内報・業界報	その他
全体		33人	72.7%	48.5%	33.3%	21.2%	9.1%	6.1%	3.0%	3.0%
性別	男性	11人	90.9%	54.5%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
	女性	22人	63.6%	45.5%	40.9%	18.2%	13.6%	9.1%	0.0%	4.5%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	4人	25.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	5人	80.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	11人	63.6%	45.5%	27.3%	36.4%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%
	60歳代	9人	88.9%	44.4%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	4人	100.0%	75.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	6人	66.7%	66.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	7人	71.4%	71.4%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	6人	83.3%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	若松区	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	4人	100.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	八幡西区	5人	60.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	4人	50.0%	25.0%	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「市政だより」と回答した人が 1 位で 72.7%、続いて 2 位が「テレビ・ラジオ」の 48.5%、「ポスター」が 3 位で 33.3%と前回調査と同じ順位でした。

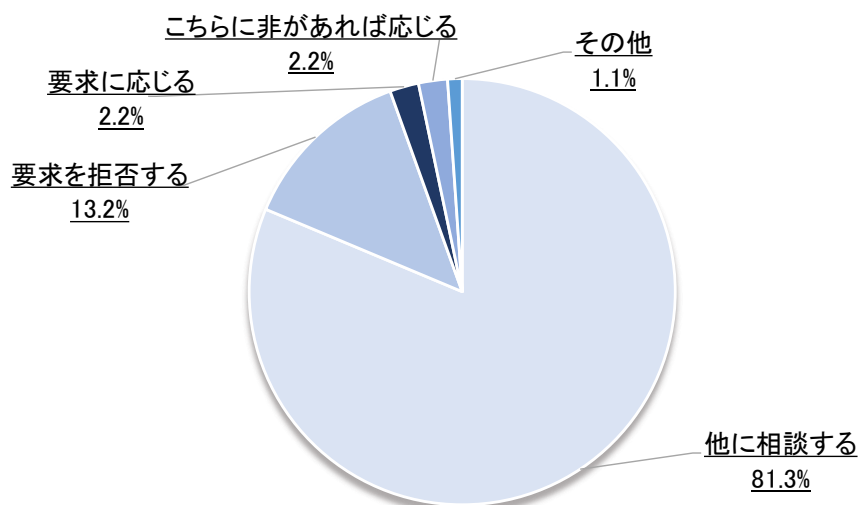
問3 あなた自身やあなたの家族・会社が、最近2年間に北九州市内において暴力団等から「ゆすり」「たかり」など、不当な要求を受けたことがありますか。また、受けたことがある方は、いつ頃ですか。



		回答者数	ある	ない
全体		91人	0.0%	100.0%
性別	男性	39人	0.0%	100.0%
	女性	52人	0.0%	100.0%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	0.0%	100.0%
	30歳代	14人	0.0%	100.0%
	40歳代	18人	0.0%	100.0%
	50歳代	22人	0.0%	100.0%
	60歳代	23人	0.0%	100.0%
	70歳以上	10人	0.0%	100.0%
区別	門司区	12人	0.0%	100.0%
	小倉北区	20人	0.0%	100.0%
	小倉南区	17人	0.0%	100.0%
	若松区	3人	0.0%	100.0%
	八幡東区	12人	0.0%	100.0%
	八幡西区	20人	0.0%	100.0%
	戸畑区	7人	0.0%	100.0%

「ある」と回答した者は 0 人でした。

問4 あなたは暴力団などから不当な要求があった場合、どのように対応しますか。
1つだけ選んでください。

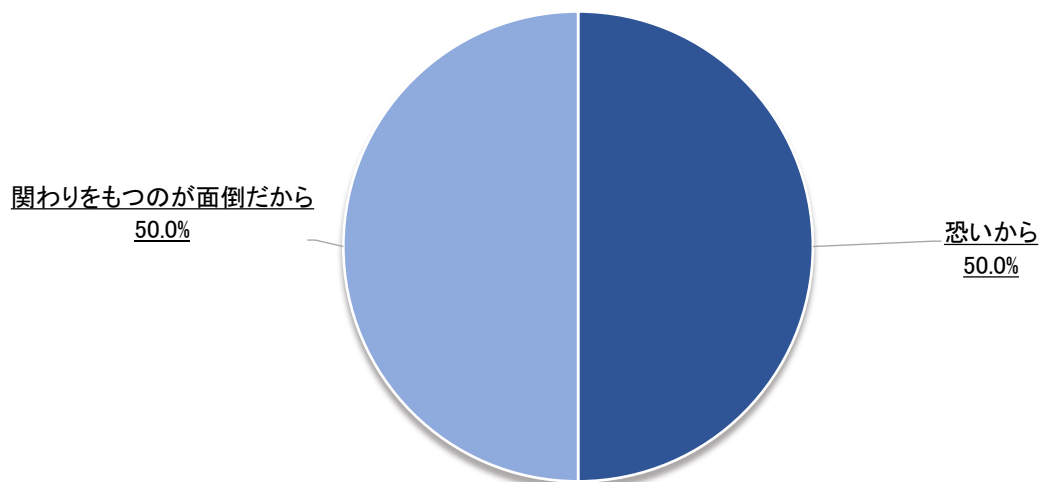


		回答者数	他に相談する	要求を拒否する	要求に応じる	こちらに非があれば応じる	その他	要求が過少であれば応じる
全体		91人	81.3%	13.2%	2.2%	2.2%	1.1%	0.0%
性別	男性	39人	82.1%	12.8%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%
	女性	52人	80.8%	13.5%	3.8%	1.9%	0.0%	0.0%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	14人	78.6%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	18人	77.8%	16.7%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%
	50歳代	22人	77.3%	13.6%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%
	60歳代	23人	87.0%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	10人	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	12人	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	20人	90.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	17人	82.4%	11.8%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
	若松区	3人	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	12人	66.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	20人	85.0%	10.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%
	戸畑区	7人	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%

1位の「他に相談する」が81.3%で、2位の「要求を拒否する」が13.2%でした。「要求に応じる」、「こちらに非があれば応じる」がともに2.2%でした。

<問5は、問4で「1 要求に応じる」と答えた方におたずねします>

問5 要求に応じるのは何故ですか。1つだけ選んでください。

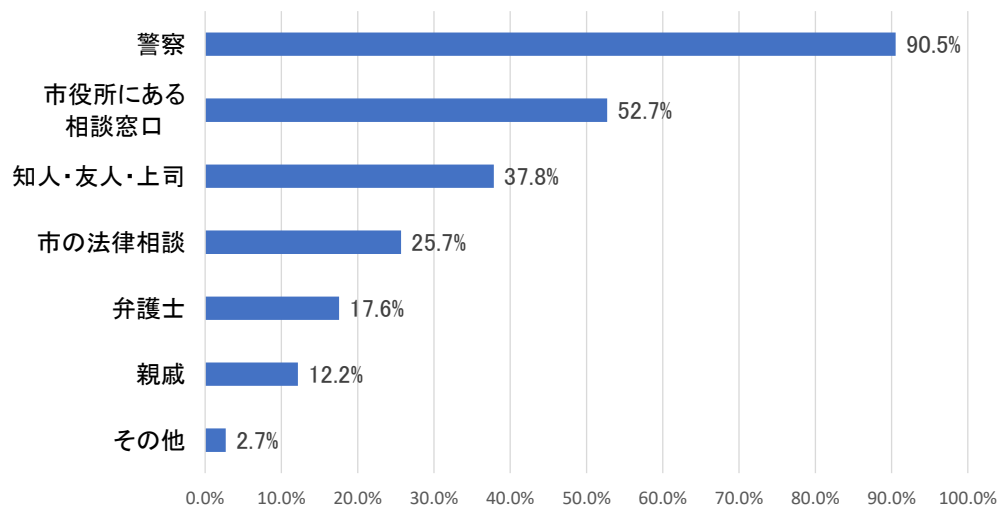


		回答者数	怖いから	関わりをもつのが面倒だから	相談するところがないから	前にも応じて、断るのが困難	対応に不慣れだから	その他
全体		2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	若松区	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「要求に応じる」と回答した理由は、「怖いから」と「関わりをもつのが面倒だから」がともに 50.0%でした。

<問6は、問4で「5 他に相談する」と答えた方におたずねします>

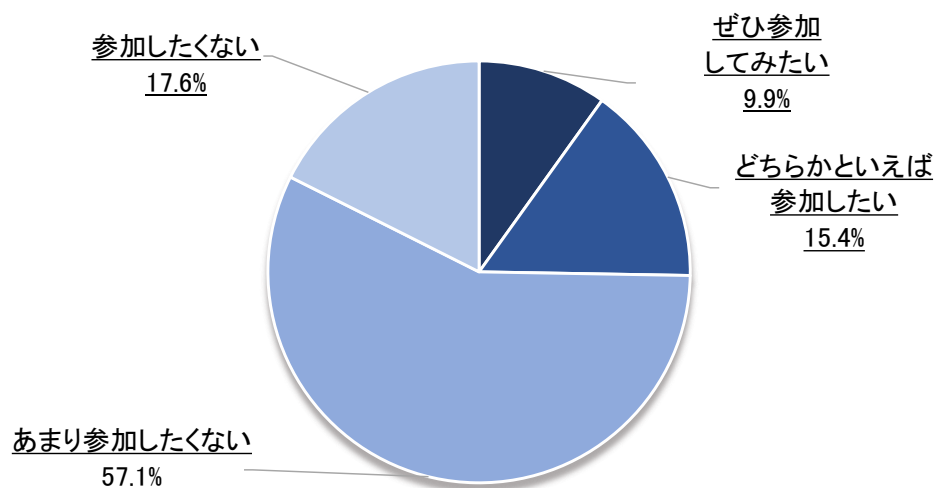
問6 そのことを誰（どこ）に相談しますか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	警察	市役所にある相談窓口	知人・友人・上司	市の法律相談	弁護士	親戚	その他
全体		74人	90.5%	52.7%	37.8%	25.7%	17.6%	12.2%	2.7%
性別	男性	32人	96.9%	43.8%	31.3%	31.3%	28.1%	9.4%	3.1%
	女性	42人	85.7%	59.5%	42.9%	21.4%	9.5%	14.3%	2.4%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	100.0%	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
	30歳代	11人	100.0%	54.5%	54.5%	18.2%	9.1%	36.4%	0.0%
	40歳代	14人	78.6%	35.7%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%
	50歳代	17人	94.1%	64.7%	52.9%	41.2%	23.5%	5.9%	0.0%
	60歳代	20人	90.0%	60.0%	30.0%	35.0%	10.0%	10.0%	0.0%
	70歳以上	8人	87.5%	50.0%	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%
区別	門司区	10人	70.0%	60.0%	50.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%
	小倉北区	18人	94.4%	50.0%	33.3%	27.8%	22.2%	5.6%	0.0%
	小倉南区	14人	92.9%	50.0%	57.1%	21.4%	14.3%	21.4%	0.0%
	若松区	2人	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8人	87.5%	50.0%	37.5%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%
	八幡西区	17人	100.0%	52.9%	35.3%	17.6%	11.8%	17.6%	5.9%
	戸畑区	5人	80.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%

前回調査と同様、「警察」と答えた人が最も多く 90.5%で 1 位、「市役所にある相談窓口」が 52.7%で 2 位でした。

問7 現在、県警察や市などの主催により、市内各地で暴力追放大会や暴追パレードが開催されていますが、あなたは参加する時間があるとした場合に、このような活動に参加することについてどのようにお考えですか。

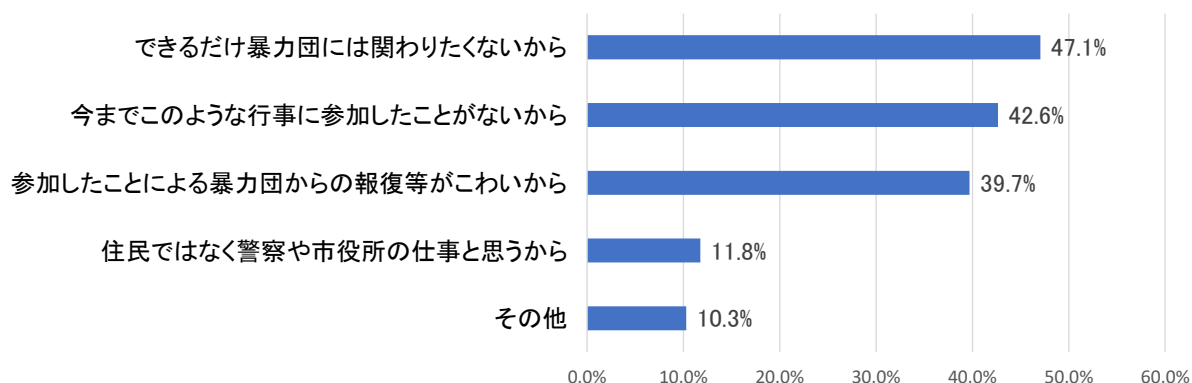


		回答者数	ぜひ参加してみたい	どちらかといえば参加したい	あまり参加したくない	参加したくない
全体		91人	9.9%	15.4%	57.1%	17.6%
性別	男性	39人	12.8%	23.1%	51.3%	12.8%
	女性	52人	7.7%	9.6%	61.5%	21.2%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
	30歳代	14人	14.3%	7.1%	50.0%	28.6%
	40歳代	18人	5.6%	11.1%	66.7%	16.7%
	50歳代	22人	9.1%	4.5%	63.6%	22.7%
	60歳代	23人	8.7%	26.1%	52.2%	13.0%
	70歳以上	10人	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%
区別	門司区	12人	25.0%	16.7%	41.7%	16.7%
	小倉北区	20人	10.0%	15.0%	55.0%	20.0%
	小倉南区	17人	11.8%	11.8%	52.9%	23.5%
	若松区	3人	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%
	八幡東区	12人	0.0%	8.3%	75.0%	16.7%
	八幡西区	20人	5.0%	25.0%	55.0%	15.0%
	戸畑区	7人	14.3%	14.3%	71.4%	0.0%

「ぜひ参加してみたい」「どちらかといえば参加したい」の合計が 25.3%と前回を下回りました。また、「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計は 74.7%でした。

＜問 8 は、問 7 で「3 あまり参加したくない」又は「4 参加したくない」と答えた方におたずねします＞

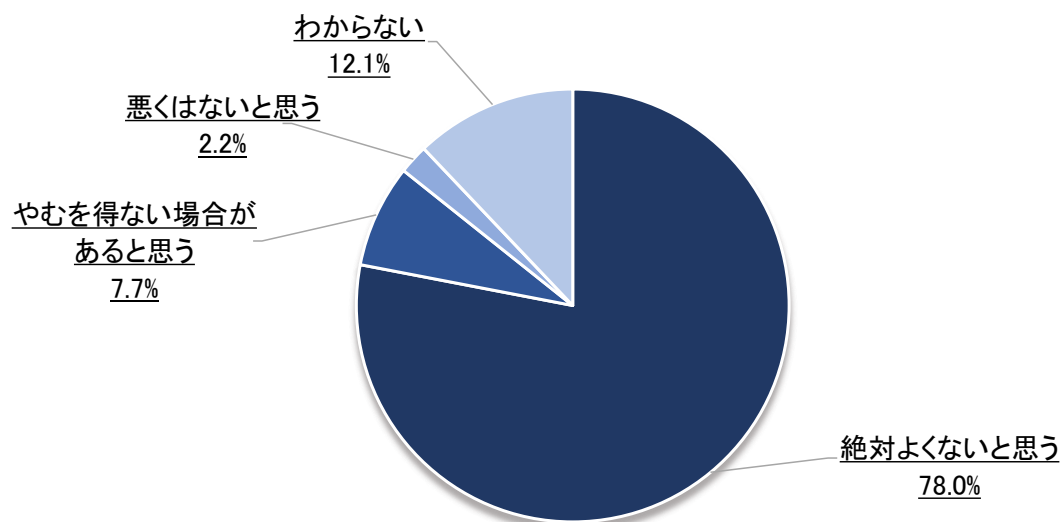
問 8 その理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	できるだけ暴力団には関わりたくないから	今までこのような行事に参加したことがないから	参加したことによる暴力団からの報復等がこわいから	住民ではなく警察や市役所の仕事と思うから	その他
全体		68人	47.1%	42.6%	39.7%	11.8%	10.3%
性別	男性	25人	48.0%	36.0%	20.0%	4.0%	20.0%
	女性	43人	46.5%	46.5%	51.2%	16.3%	4.7%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	2人	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	30歳代	11人	72.7%	18.2%	63.6%	27.3%	9.1%
	40歳代	15人	53.3%	53.3%	33.3%	13.3%	0.0%
	50歳代	19人	31.6%	36.8%	52.6%	5.3%	15.8%
	60歳代	15人	40.0%	53.3%	33.3%	6.7%	13.3%
	70歳以上	6人	50.0%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%
区別	門司区	7人	57.1%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%
	小倉北区	15人	33.3%	46.7%	40.0%	6.7%	13.3%
	小倉南区	13人	53.8%	23.1%	46.2%	7.7%	7.7%
	若松区	3人	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11人	54.5%	45.5%	27.3%	18.2%	9.1%
	八幡西区	14人	42.9%	50.0%	50.0%	14.3%	14.3%
	戸畑区	5人	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%

「できるだけ暴力団には関わりたくないから」が 47.1% と一番多く、次いで「今までこのような行事に参加したことがないから」が 42.6%、「参加したことによる暴力団からの報復等がこわいから」が 39.7% でした。

問9 暴力団などを利用して、もめごとの処理を行う人がいますが、あなたはこのようなことについてどう考えますか。1つだけ選んでください。

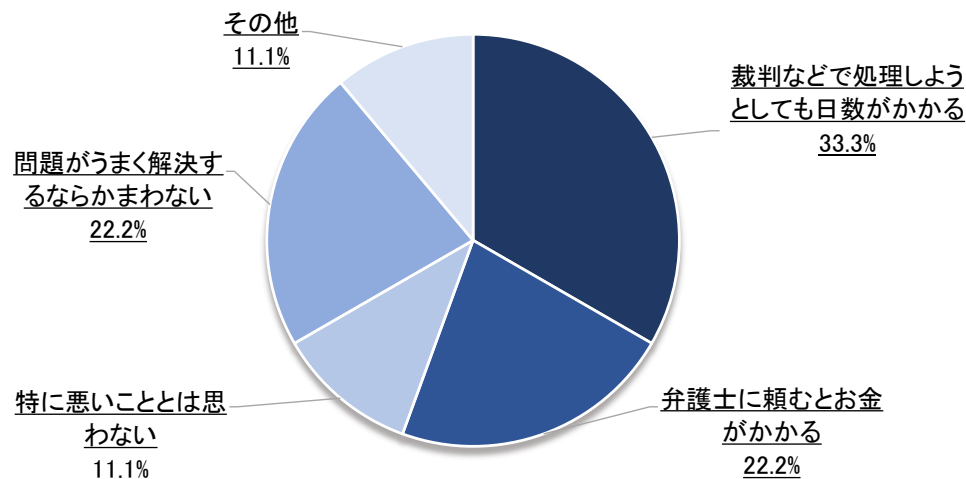


		回答者数	絶対よくないと思う	やむを得ない場合があると思う	悪くはないと思う	わからない
全体		91人	78.0%	7.7%	2.2%	12.1%
性別	男性	39人	82.1%	7.7%	2.6%	7.7%
	女性	52人	75.0%	7.7%	1.9%	15.4%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	14人	64.3%	28.6%	0.0%	7.1%
	40歳代	18人	66.7%	0.0%	5.6%	27.8%
	50歳代	22人	81.8%	4.5%	0.0%	13.6%
	60歳代	23人	91.3%	4.3%	0.0%	4.3%
	70歳以上	10人	70.0%	10.0%	10.0%	10.0%
区別	門司区	12人	75.0%	16.7%	0.0%	8.3%
	小倉北区	20人	85.0%	5.0%	0.0%	10.0%
	小倉南区	17人	82.4%	11.8%	0.0%	5.9%
	若松区	3人	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%
	八幡東区	12人	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%
	八幡西区	20人	80.0%	5.0%	0.0%	15.0%
	戸畑区	7人	42.9%	14.3%	28.6%	14.3%

「絶対によくないと思う」が 78.0% と一番多く、依然として大半を占めています。「やむを得ない場合があると思う」が 7.7%、「悪くはないと思う」が 2.2%でした。

＜問１０は、問９で「２ やむを得ない場合があると思う」又は「３ 悪くはないと思う」と答えた方におたずねします＞

問１０ そう思う理由は何ですか。１つだけ選んでください。

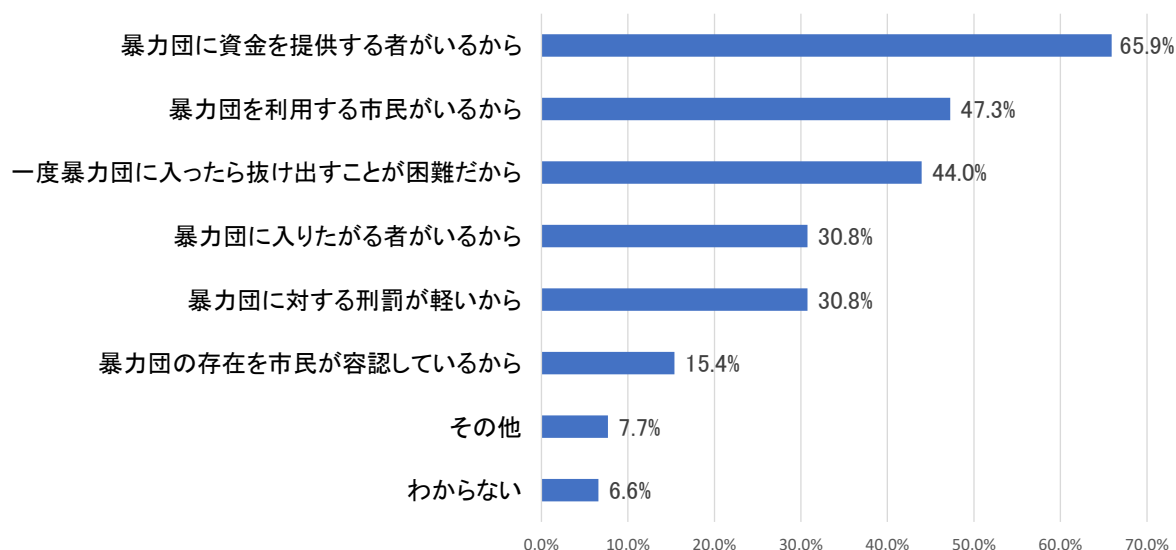


		回答者数	裁判などで処理しようとしても日数がかかる	弁護士に頼むとお金がかかる	特に悪いこととは思わない	問題がうまく解決するならかまわない	その他
全体		9人	33.3%	22.2%	11.1%	22.2%	11.1%
性別	男性	4人	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	女性	5人	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	4人	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%
	40歳代	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	2人	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	2人	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	小倉北区	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	2人	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	若松区	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	1人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	戸畑区	3人	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%

回答した 9 人の中で、「裁判などで処理しようとしても日数がかかる」が 33.3% と一番多く、「弁護士に頼むとお金がかかる」「問題がうまく解決するならかまわない」がいずれも 22.2% でした。

問 1 1 あなたは、暴力団はどうして存在するのだと思いますか。

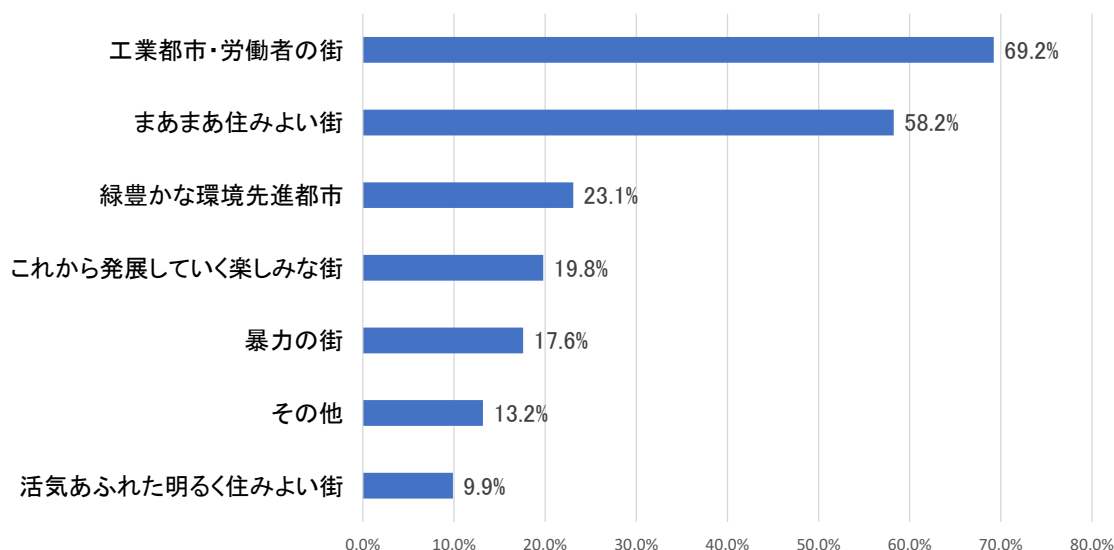
次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	暴力団に資金を提供する者がいるから	暴力団を利用する市民がいるから	一度暴力団に入ったら抜け出すことが困難だから	暴力団に入りたがる者がいるから	暴力団に対する刑罰が軽いから	暴力団の存在を市民が容認しているから	その他	わからない
全体		91人	65.9%	47.3%	44.0%	30.8%	30.8%	15.4%	7.7%	6.6%
性別	男性	39人	61.5%	48.7%	35.9%	15.4%	41.0%	17.9%	12.8%	2.6%
	女性	52人	69.2%	46.2%	50.0%	42.3%	23.1%	13.5%	3.8%	9.6%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	75.0%	25.0%	100.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	14人	50.0%	50.0%	42.9%	14.3%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%
	40歳代	18人	55.6%	38.9%	50.0%	38.9%	27.8%	5.6%	0.0%	16.7%
	50歳代	22人	68.2%	50.0%	22.7%	31.8%	22.7%	13.6%	13.6%	9.1%
	60歳代	23人	78.3%	47.8%	52.2%	34.8%	34.8%	13.0%	8.7%	4.3%
	70歳以上	10人	70.0%	60.0%	40.0%	30.0%	60.0%	50.0%	10.0%	0.0%
区別	門司区	12人	58.3%	50.0%	25.0%	33.3%	58.3%	41.7%	16.7%	8.3%
	小倉北区	20人	70.0%	50.0%	40.0%	30.0%	20.0%	15.0%	5.0%	5.0%
	小倉南区	17人	70.6%	41.2%	35.3%	17.6%	41.2%	11.8%	5.9%	5.9%
	若松区	3人	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	八幡東区	12人	58.3%	50.0%	41.7%	50.0%	41.7%	8.3%	8.3%	0.0%
	八幡西区	20人	60.0%	55.0%	60.0%	35.0%	5.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	戸畑区	7人	85.7%	42.9%	57.1%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%

「暴力団に資金を提供する者がいるから」が半数以上の 65.9%で、次いで「暴力団を利用する市民がいるから」「一度暴力団に入ったら抜け出すことが困難だから」が 40%以上と多い結果となりました。

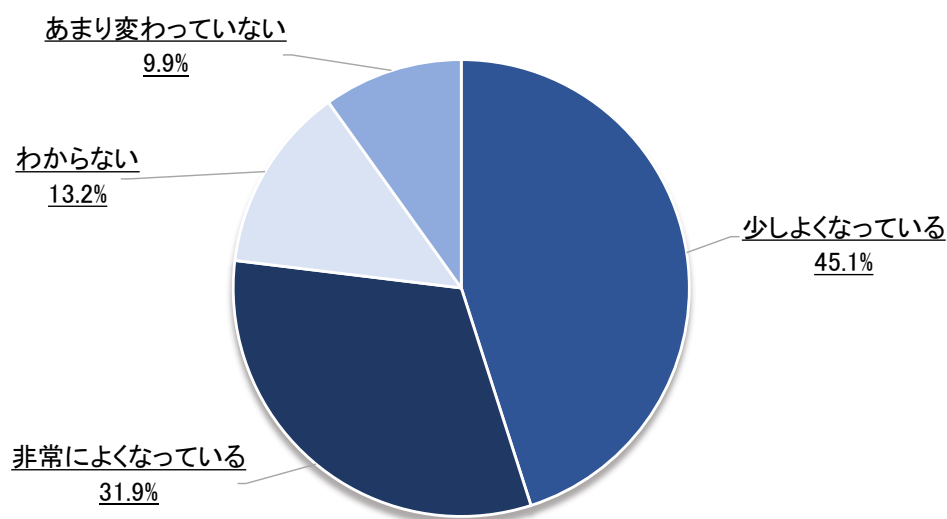
問 1 2 あなたは、北九州市に対してどんな都市イメージをもっていますか。
次の中からいくつでも選んでください。



		回 答 者 数	工業都市・ 労働者の街	まあまあ住 みよい街	緑豊かな環 境先進都 市	これから発 展していく 楽しみな街	暴力の街	その他	活気あふれ た明るく住 みよい街
全体		91人	69.2%	58.2%	23.1%	19.8%	17.6%	13.2%	9.9%
性 別	男性	39人	74.4%	51.3%	20.5%	23.1%	20.5%	15.4%	10.3%
	女性	52人	65.4%	63.5%	25.0%	17.3%	15.4%	11.5%	9.6%
年 齢 別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	100.0%	50.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	14人	71.4%	50.0%	28.6%	21.4%	21.4%	14.3%	14.3%
	40歳代	18人	55.6%	61.1%	22.2%	22.2%	22.2%	5.6%	16.7%
	50歳代	22人	77.3%	54.5%	27.3%	9.1%	18.2%	18.2%	4.5%
	60歳代	23人	60.9%	65.2%	26.1%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%
	70歳以上	10人	80.0%	60.0%	10.0%	30.0%	10.0%	20.0%	0.0%
区 別	門司区	12人	91.7%	33.3%	25.0%	16.7%	33.3%	33.3%	8.3%
	小倉北区	20人	65.0%	65.0%	15.0%	20.0%	10.0%	10.0%	15.0%
	小倉南区	17人	47.1%	52.9%	35.3%	17.6%	23.5%	17.6%	5.9%
	若松区	3人	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
	八幡東区	12人	83.3%	41.7%	16.7%	16.7%	8.3%	16.7%	8.3%
	八幡西区	20人	80.0%	75.0%	15.0%	15.0%	20.0%	0.0%	5.0%
	戸畑区	7人	57.1%	71.4%	42.9%	42.9%	0.0%	14.3%	14.3%

「工業都市・労働者の街」が 69.2%で前回同様 1 位、「まあまあ住みよい街」が 58.2%で前回同様の 2 位でした。また、「暴力の街」は 17.6%と前回より減少し、5 位となりました。

問 1 3 北九州市では、警察その他の関係機関・団体と連携し、暴力追放運動に積極的に取り組んでいます。以前と比べて変わったと思いますか。



		回答者数	少しよくなっている	非常によくなっている	わからない	あまり変わっていない	悪くなっている
全体		91人	45.1%	31.9%	13.2%	9.9%	0.0%
性別	男性	39人	43.6%	43.6%	5.1%	7.7%	0.0%
	女性	52人	46.2%	23.1%	19.2%	11.5%	0.0%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	14人	42.9%	21.4%	35.7%	0.0%	0.0%
	40歳代	18人	55.6%	27.8%	0.0%	16.7%	0.0%
	50歳代	22人	50.0%	18.2%	22.7%	9.1%	0.0%
	60歳代	23人	26.1%	56.5%	4.3%	13.0%	0.0%
	70歳以上	10人	50.0%	40.0%	0.0%	10.0%	0.0%
区別	門司区	12人	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
	小倉北区	20人	50.0%	25.0%	20.0%	5.0%	0.0%
	小倉南区	17人	58.8%	35.3%	5.9%	0.0%	0.0%
	若松区	3人	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	八幡東区	12人	58.3%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%
	八幡西区	20人	30.0%	45.0%	20.0%	5.0%	0.0%
	戸畑区	7人	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%

「少しよくなっている」「非常によくなっている」の合計が 77.0%で、前回同様に全体の 7 割以上を占めました。

問 1 4 暴力追放について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

2 1 件のご意見をいただきました。主なものは次のとおりです。(一部抜粋)

- 何年前になるか忘れましたが、北九州の街中を暴力団を封じ込めるために、全国から応援の警察官やパトカーなど警察車両が走り回っていたことや、テレビで暴力団イコール北九州のイメージがあったことが懐かしく思えるような平和な街になったと思います。

これからも、よその街から北九州に人が移住してくる街になることを希望します。

- 一度非行に走った人たちの受け皿として暴力団があると思います。
そういった人たちを受け入れる仕組みがあれば、暴力団に人が増えることはないのではないかと考えます。

追放するだけでは、暴力はなくならないと思います。問題点をしっかり見て、市が取り組んでほしいです。

- 暴力団に屈しなかった北九州市を誇りに思います。
北九州市に来て5年ですが、これからも住み続けたいなと思います。

- 子どもたちがその世界に足を踏み入れない環境づくりが必要。

- 以前より、断然良くなっていると感じており、市の取り組み成果だと思っています。

- ニュースを見ると、元組事務所の施設利用などの報道があるので、少しずつ変わろうとしていると思う。

しかしながら、県外からのイメージは、まだまだ暴力団のイメージも残っているなあと感じている。

- ニュースなどによる断片的な情報や話題にとどまるが、全体として改善は進んでいると思われる。なかなか顕在化しにくいところがあるから、行政でも司法でもきめ細かい対応が整備される必要がある。

- 北九州市のイメージが、「石を投げたらヤクザに当たる」です。
関東から新幹線で小倉駅に降りると、大丈夫かな？と思うようです。
なかなかイメージは拭えないと思いますが、実際、そんな雰囲気はないと思うので、来訪者を増やしてイメージアップをしていきたいと思っています。
- 修羅のまち、北九州と言われることが本当に嫌。
- 少数の力では難しい問題だと思います。行政が中心に市民や裁判所等が協力しあって、解決に向けて地道に取り組むことが肝要だと存じます。

Ⅳ 全体考察

民事暴力相談センターは、昭和62年10月に暴力団等からの被害を受けた市民や企業が気楽に相談できる行政の窓口として、全国に先駆けて開設しました。さらに平成25年4月1日、組織改変により交通事故相談、民事介入暴力相談、犯罪被害者相談、生活環境パトロールを統合して、安全・安心相談センターが発足しました。

また、福岡県では平成22年4月に全国初となる罰則規定を盛り込んだ「福岡県暴力団排除条例」を施行し、平成25年6月1日には、暴力団排除に立ち上がり、また立ち上がろうとする事業者を保護するため、特定の事業者に対する暴力団の不当な影響を排除するための措置が追加規定された「改正福岡県暴力団排除条例」が施行され、本市でも平成22年7月に市民が安心して暮らせる社会の確保、社会経済活動の健全な発展に寄与すること等を目的に「北九州市暴力団排除条例」を施行したところです。

このアンケートは、本市が県警察、市民と緊密に連携して推進している暴力団対策の市民認知状況及び民事介入暴力や被害相談の状況を調査し、今後の取り組みに生かすため、実施しました。

【市の相談窓口の認知度について】

- 市の相談窓口の認知度は、36.3%と4割未満となりました。前回の令和5年度は、53.9%、前々回の令和3年度は、47.7%と過去のアンケート結果より減少しました。

暴力追放に向けた取り組みについては、「テレビや市政だよりによる広報啓発」、「ポスターやリーフレットによる啓発」、が前回と同様6割以上で上位を占めています。

【不当な要求を受けた場合について】

- 暴力団から不当な要求を受けた場合の対応では、「他に相談する」が81.3%と圧倒的に多く、次いで「要求を拒否する」が13.2%でした。

また、相談相手は1位「警察」90.5%、2位「市の相談窓口」52.7%と順位は前回と同様で、割合は前回より高くなっており、身の回りの人より、行政機関を優先する意見が多くなっています。

【暴力追放の住民運動について】

- 暴力追放の住民運動への参加意識では、「ぜひ参加してみたい」「どちらかといえば参加したい」の合計が25.3%で全体の3割未満でした。

「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計は74.7%で7割を超えています。

参加したくない理由は「できるだけ暴力団に関わりたくないから」が47.1%と一番多く、次いで「今までこのような行事に参加したことがないから」が42.6%、また「参加したことによる暴力団からの報復等がこわいから」が39.7%と、暴力団の存在を恐れる意見は前回の調査時とほぼ同率となっています。

【暴力団を利用してもめごと処理について】

- もめごとの処理に暴力団を利用することの可否については、「絶対によくないと思う」が78.0%で大半を占めています。次いで「やむを得ない場合があると思う」が7.7%「悪くないと思う」は2.2%となっています。

【暴力団の存在について】

- 暴力団の存在については、「暴力団に資金を提供する者がいるから」が65.9%「利用する市民がいるから」が47.3%、次いで「一度暴力団に入ったら抜け出すことが困難だから」が44.0%と上位を占めています。

【北九州のイメージについて】

- 都市のイメージの項目は、1位「工業都市・労働者の街」が69.2%、2位「まあまあ住みよい街」が58.2%となった。また、「暴力の街」は17.6%となり前回調査時の21.0%よりより減少したことから、イメージの改善が期待される結果となっています。

【暴力追放運動の取り組みについて】

- 暴力追放運動の取り組みについては、以前と比べて「非常によくなっている」が、31.9%、「少しよくなっている」が45.1%であり、よくなっているとの意見が全体の77.0%で、本市の暴力追放運動は一定の評価を受けていることがうかがえます。

【市政モニターに関すること】

総務市民局広聴課（Tel：093-582-2527）

【アンケートに関すること】

総務市民局安全・安心推進課（Tel：093-582-2911）